

会 議 録

会 議 の 名 称	第5回 所沢市自治基本条例推進委員会
開 催 日 時	令和6年2月1日(木) 午後6時から午後7時45分まで
開 催 場 所	市役所高層棟3階 庁議室
出席者の氏名	川口 直也、池田 亜希子、河原 淑子、高橋 祐二、廣川 隆通、 藤田 由紀子、萩本 眞一郎、道口 泰己、木寺 元
欠席者の氏名	
説明者の職・氏名	—
議 題	(1) 市民意識調査について (2) 第6期所沢市自治基本条例推進委員会の総括 (3) 小野塚市長の公約について (4) 小野塚市長との意見交換会 (5) その他
会 議 資 料	(1) 会議次第 (2) 資料1 第5回所沢市自治基本条例推進委員会 資料2 小野塚市長が掲げる重点政策 一覧 参考資料1 令和5年度版 所沢市市民意識調査報告書
担 当 部 課 名	経営企画部経営企画課 電話 04(2998)9027 経営企画部長 鈴木 哲也 経営企画部次長 柳田 晃芳 経営企画課 課長 小池 純一 主 幹 松本 圭四郎 主 幹 岩崎 智己 主 査 稗田 真理子 主 査 都築 岳男 主 任 古屋 由佳子 主 任 友木 雄太 主 任 田中 綾華 主 任 林 真琴

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>開会后、木寺委員長の進行により議事が進められた。</p> <p>（１）市民意識調査について 令和５年度市民意識調査の結果について、事務局より説明資料に沿って説明を行った。</p>
委員長	<p>地区ごとの回答率とは。</p>
事務局	<p>回答者のうち何割がどこの地区かを指している。</p>
委員	<p>地区ごとの送付に対する回答率はわかるのか。もし出すことができるのであれば、地区ごとの性格など新たな一面もわかるかもしれない。</p>
委員	<p>報告書を見ると、愛着度、定住意向が上昇していることがわかる。８６％という数値は他市と比べてどうなのか。</p>
事務局	<p>近隣市と比較しても高い水準にある。</p>
委員長	<p>結構高い数字かと思うので、誇りにするべき。</p>
委員	<p>長く居住すると、愛着度が高くなるという仮説を立てているのであれば、出入りが高いところで、愛着度がどうなっているのか、相関関係を確認すると良い。出入りが多くても愛着度が高いのであれば、優秀な結果であると言えるのではないか。動態的な視点で分析するのも良い。</p>
事務局	<p>分析方法を研究したい。</p>
委員	<p>継続的に市民意識調査を行うようになったのはいつからか。</p>
事務局	<p>平成１８年度から毎年行っている。</p>
委員	<p>良いデータであるため、公開し自由に分析できるようにしても良い。</p>
委員	<p>並木地区は、愛着度や定着度が高く、良い地域だと感じている。人と人とのつながりがあって、思いやりを持っている方が多い。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	地域医療について、要望率は2位、満足度も3位となっている。どうしてこういった結果になったのか。
事務局	一般的には要望度が高ければ、満足度は低いと考えるところだが、地域医療については、昔から要望度も満足度も高い傾向がある。感覚でも構わないので、何か思うことがあれば教えてほしい。
委員	若い世代は価格に敏感である。地価や借地・借家との関係も見てはいかがか。
副委員長	回答率が3年連続で小手指が1位なのに、愛着度や定住意向のランキングには出てこないのが不思議である。
事務局	小手指地区は若い世代が住んでいる割合が多く、長く住んでいないため、愛着度や定住意向の数値は上がってはいない。今後居住していくにあたり、市民意識調査を通じて市に意見を伝えたい方が多く、回答率が高いのではないか。 また、小手指地区は11行政区ある中で、1番人口数が多い地区でもある。
委員長	引き続き分析をお願いしたい。 (2) 第6期所沢市自治基本条例推進委員会の総括事務局より説明資料に沿って説明を行った。 (3) 小野塚市長の公約について事務局より説明資料に沿って説明を行った。 (4) 小野塚市長との意見交換会
委員長	所沢市は魅力があると思うが、シティプロモーションについて伺いたい。
市長	所沢市はたくさん魅力がある。総合的にその魅力をどう出していくのか、より意識的にやっていけるかが重要である。
副委員長	市長給与3割カットをしたのはなぜか。自分のやっていることに自信があるのであれば、給与をカットせずとも、一生懸命行ってもらえればよいと感じている。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
市長	給与3割カットは私に限ったことであり、他の特別職にも影響しない。財政が厳しい状況であるため、1円たりとも無駄にしないという自身の政治姿勢である。
委員	高等教育機関と連携した地域課題解決とは、具体的にはどのようなことか。
市長	市内の教育機関は宝である。行政の立場だと気づけない、できないことを教育機関の力を借りて進めていきたいと考えている。
委員	私自身はふるさと納税はやっていないが、今後返礼品はあるのか。
市長	所沢市の魅力を全国に広げることができるほか、産業振興・農業振興にもつながり、ふるさと納税の返礼品は有効かと考えている。
委員	歩道を自転車がスピードを出して走っていくのをやめてもらえるような工夫をしてほしい。自身も歩いていて感じていた。都市計画区域見直しの際に併せてできないか。
市長	子ども、高齢者、障害者にとってはより危険な状況である。それでは安心して過ごすことができない。今のご指摘は非常に重要である。参考にしたい。
委員	社会福祉協議会では11行政区にコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域とのつながりを作っているが、コロナによる不登校や自死が増えていると感じる。どのようなことをやっていくのか。
市長	地域の皆様の力を借りないと解決しきれない重要な問題である。顕在化していないところで相当色々なことが起きていると思っている。ダイレクトに本人への支援を何ができるのかを考えたい。社会福祉協議会の事業は参考になるため、今後ともご協力いただきたい。
委員	特別養護老人ホーム等へ中々入居できない。介護する側も高齢化が進んでいる。市民が市内の施設を利用できるよう政策を検討してほしい。
市長	中核市になれば権限が与えられるため、市として意見を受け止められるようになる。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	子育て世帯にとって魅力的な政策であるが、財政は大丈夫なのか。
市長	<p>議会の承認を得なければならないが、令和6年度予算は組むことができた。コロナが落ち着き始めたこと、財政の厳しさ、市のトップリーダーが変わったこのタイミングで、従来行ってきた政策の見直しが必要と考えている。</p> <p>所沢の魅力を磨き上げることが、市民の生活の向上につながり、それが所沢市に住んでみたいと思ってもらえるような循環をつくりたい。様々な種はまかれ、芽吹いているものもある。それを大きくしていくことが自身の責務と考えている。</p>
委員	市民とのコミュニケーションの質を上げて欲しい。消費者市民だけでなく、実業者など産業部門からの声も聴くと政策にも厚みができるのではないか。
市長	<p>その通りである。経済の視点は欠かせない。西武線沿線の価値を高めるため、西武線沿線サミットに参加し、西武鉄道や沿線自治体とも話をしている。池袋線、新宿線が交差する所沢市はより価値が高くなる。</p> <p>産業振興については、市長タウンミーティングのテーマの一つに考えている。</p> <p>（5）その他 事務局より、本委員会の任期について説明を行った。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>